

「自由」の中で自ら鍛える
自己実現のための英語力とは



平岡時代の友人に招かれ、ケンブリッジ大学のフォーマルディナーに参加。

体系的に身につけた 英語力は 世界へ通じる

東京慈恵会医科大学医学部6年

守本 早希 氏

(桜蔭中・高出身、中1から高3まで平岡塾に在籍)

中学入学と同時に平岡塾に通い始め、大学入学後は講師として後輩の指導に携わっている守本早希さん。英語だけでなく、日本語や論理的思考力を平岡塾で学んだことが、今の自分につながっていると感じているという。平岡塾での学びを通して、守本さんが得たものとは？ これまでの日々を振り返ってもらった。



ついていました。

英語力と同時に 日本語力も鍛える授業

——現在の英語教育では、4技能を総合的に伸ばすことが求められています。平岡塾の学びをどのようにお考えですか。

簡単に思われがちな日常会話の場面でも、アカデミックな英語を扱う際にも、いわゆる4技能すべてにおいて小手先の英語力では十分に対応できません。正確に読んだり聞いたりするためには文構造や文法の理解が不可欠です。自分の意見を述べたり、レポートや感想を書いたりする場合には、読むときや聞くとき以上に正確な文法の知識が必要になります。平岡塾で体系的に英語を学べたことは、私の強みだと思っています。

また「日本語が英語力の限界」と言われます。平岡塾では日本語をとっても大切にしており、英語を日本語に訳す際には、語順や一番ふさわしい言葉などに細心の注意を払います。大学受験においても、和訳や要約問題で日本語力が問われますが、平岡塾で鍛えられたおかげで苦労はしませんでした。

——大学入学後から平岡塾で講師を務められています。後輩たちに伝えたいことは？

今は主に中学1、2年生を教えています。いろいろな生徒が

英語を使って 幅広い教養を身につける

——中学入学と同時に平岡塾に入られたそうですね。第一印象はどうでしたか。

母の勧めで平岡塾の説明会に行き、すぐに入塾しました。その頃洋楽に興味を持ち始めたことも、英語塾に通おうと思ったきっかけです。

平岡塾は、生徒同士が座卓に向き合って座る形式だったり、飲食が自由だったり、中学受験で通っていた塾とは全く違いましたが、生徒の自主性が尊重されており、よりリラックスして授業を受けられることを実感しました。友人もすぐにでき、勉強に追われてというよりも、6年間楽しく通ったという印象です。

——平岡塾の授業の特徴を教えてください。

「一生モノの英語力を身につける」を目標に、オーソドックスな英語を体系的に学んでいきます。

まず読解について。学校の授業と違い、平岡塾でよかったと思うのは、テキストが物語だったことです。学校の教科書は簡単な英語を並べただけで内容の乏しい文章から始まりますが、平岡塾では初級クラスから『ドン・キホーテ』や『八十日間世界一周』などの洋書を使用して

いますが、私心がけているのは、できるだけシンプルにわかりやすく説明することです。初学者のうちは、文法用語主体の抽象的な解説はまだピンとこない生徒もいますので、一緒に文法プリントの例文を参照しながら文の構造を説明し、共通するパターンを生徒自身に気づかせるよう働きかけ、苦手意識を持たせないよう工夫をしています。

根本にあるのは「英語が好きになってもらいたい」という思いです。英語の授業で学んだことを自分の関心に活かしてみようとするので、英語にさらに親しみがわきます。好きだった歌の歌詞の意味がわかると、その歌がもっと好きになります。私はそんな風に英語と向き合ってきました。やるべきことをきちんとやり、自発的に取り組めば必ず英語力を伸ばせますし、どんな面も面白くなっていきます。生徒にはそう伝えたいと思っています。

世界でつながる 平岡塾卒業生との絆

——ところで、医師の世界を目指した理由を教えてください。

母が臨床医、父が研究主体の医師で、幼い頃から働く姿を見て医師への興味を持っていました。医師としての姿勢を二人から学び、誰かの力になれる医師

自然で正しい英語に親しみます。まだ習っていない文法事項は事前に先生が教えてくださり、知らない単語は辞書を引いて読み進めていくので、物語を楽しみつつ無理なく読み通すことができました。

中上級クラスでは、オーウェルの原典作品やデカルト、ラッセルなどの哲学書にも取り組めるようになります。時代背景や作者の意図をふまえて精読することで、日本語に訳すだけでは留まらない論理的な理解が深まりました。キング牧師の演説を通して歴史を学ぶ機会もありましたし、英語を学びながら幅広い教養を身につけられる授業でした。

——平岡塾では発音や文法に力が入られていますか。

はい。ネイティブのリチャード先生の授業では、発音記号からみっちり学び正しい発音が身につきました。ジャズの演奏にあわせて日常会話のフレーズを楽しく唱えることで自然な抑揚も身につけ、ネイティブの方から褒められることもあります。

一方の文法は、文法解説プリントを使って体系的に理解し、それを演習や宿題によって自分のものにする、という進め方です。平岡塾のプリントファイルを横に置き、言われたことを言われたとおりにこなしているうちに、いつの間にか英語力が身

になりましたか。

現在は臨床実習を経て、医師国家試験に向けて勉強中です。将来はまだ決まっていますが、臨床の場で働きたいと考えています。特に、今後社会で活躍する女性が増えると思います。それから、そんな働く女性を支える産婦人科医になれたらと。また医学は日々進化していますので、臨床研究にも携わりたい。今のところ海外で働くという選択肢は考えていませんが、先進的な医学を学ぶために一定期間海外へ、ということもあるかもしれません。

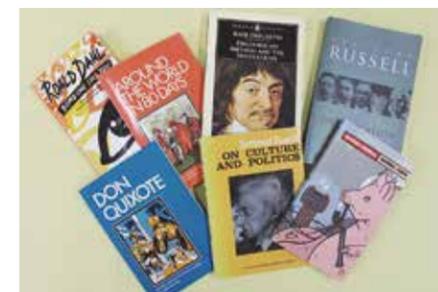
——平岡塾で学んだこと、過ごした日々は、今にどうつながっていますか。

医学論文の多くは英語で書かれています。平岡塾で手ごわい文章をたくさん読んできましたので、どんな論文にも抵抗なく向き合えます。医学用語が多いので、自動翻訳では訳に間違いがあったり、正しい日本語になっていなかったりすることが多々あります。そんなとき原文を読み直し、内容を分析・判断するうえで、平岡塾で身につけた英語力が大きな強みになっています。

また、平岡塾で英語を好きになったので、英語によるコミュニケーションを楽しめる、ということもあります。今年の初めに米国のUCLAと英国のキングス・カ



平岡塾には「一生モノの英語力」を求めて首都圏から中高生が集う。授業中でも飲食は自由だ。



平岡塾独自のセレクトによる教材。ラッセル、オーウェルなど古典的名著の名文が中心となる。



高校時代の守本さんは管弦楽部に所属。仲間との演奏に熱中し、勉強以外のことにも全力で取り組んだ。

レッジ・ロンドンに1カ月ずつ留学し実習を行いました。コミュニケーションをとるのに全く不便は感じませんでした。

——英国では平岡塾で学んだ皆さんが集まられたそうですね。はい。平岡塾で一緒に学んだ仲間たちとは、日本でも定期的に同窓会を開いているのですが、私が研修に行ったとき、イギリス在住の仲間たちがフォーマルディナーに招待してくれました。同期が海外で頑張っているのだと大いに刺激を受けました。

——最後に、中高生に向けてメッセージをお願いします。英語学習は受験がゴールの1科目ではありません。学んだ英語を積極的に使うことで、趣味が豊かになり交友が深まります。英語を通じた様々な出会いが自分の世界をどんどん広げてくれる。そんな経験をぜひ、みなさんにもしていただきたいと思っています。



一緒に病院で実習したクラスメート。